

# 大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)  
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

## 記

講師： 大阪大学大学院 歯学研究科  
口腔分子感染制御学講座 (歯科保存学教室)  
教授 林 美加子 先生

演題： バイオメカニクスの視点で捉える  
歯根破折メカニズム

日時： 2019年2月14日(木)17:00~20:00

場所： 7号館(歯学部校舎棟)5F、保存矯正示説室

抄録： 徹底したプラークコントロールによって細菌感染症であるう蝕や歯周病を予防できても、歯根破折への対応には苦慮する場面がしばしばある。象牙質の組成、微細構造、および環境要因に着目した場合、象牙細管の走行方向に影響される「異方性」を有することや、タイプIコラーゲンの架橋が破壊抵抗性に寄与していることは興味深い。また、加齢に伴って添加される透明象牙質は、象牙細管の閉塞のために亀裂が進展しやすいことも分かっている。一方、歯科治療に関わる歯の破折の誘因のなかでも、注目すべき事象が象牙質表面の微小亀裂である。象牙質の疲労破壊曲線から考察すると、初期亀裂の発生に破壊エネルギーの多くを要し、その後、微小亀裂は一挙に破折へと進展する。本講演では、歯の破折のメカニズムについて、バイオメカニクスの視点から臨床的考察を交えて探索したい。

連絡先：川島 伸之 (歯髓生物学分野 内線 5495)